

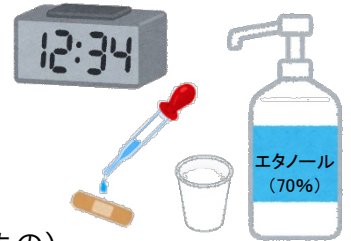
# 【西区版】アルコール(エタノール)パッチテストのしかた

## ～アルコール(エタノール)パッチテストでわかること～

低活性型および非活性型の2型アルデヒド脱水素酵素(ALDH2)を持つ人と活性型アルデヒド ALDH2をもつ人とを簡単に区別するテストです。このテストで 90～95%の精度で ALDH2のタイプを判定できます。

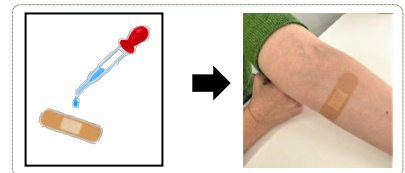
### ◆用意する物

- アルコール (市販のエタノール(70%))
- 薬品がついていない絆創膏
- アルコールを入れる容器 (例)カップ 紙コップ
- アルコールを吸い上げるもの (例) スポイト ストロー
- 時計
- 測定用紙(テストを開始した時間、7分後、17分後の時間を書く事ができるもの)
- テスト結果の説明用紙
- 筆記用具



### ◆実施方法

- 1 アルコールを容器に入れる
- 2 容器内のアルコールを吸い上げ、絆創膏の白い部分にしみ込ませる
- 3 2を、テストを受ける人の腕 (内側のやわらかいところ)に貼る
- 4 絆創膏を貼った時間を測定用紙に記載
- 5 貼った時間+7分後、17分後の時間を測定用紙に記載  
(例) 14時10分に絆創膏を貼った場合  
7分後:14時17分 17分後:14時27分

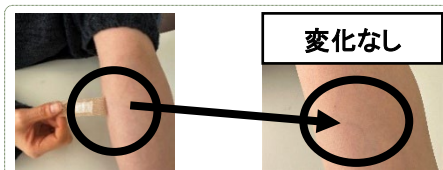
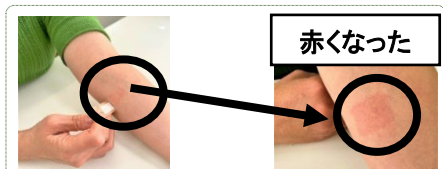


#### 6 【絆創膏を貼ってから 7分後】

絆創膏をはがし、赤くなっているか、変化がないかを確認

- 赤くなった人 → **テスト結果を説明**  
非活性型(不活性型)ALDH2  
(結果)「お酒を飲めない体質の人」  
※少量でも急性アルコール中毒になりやすい

- 変化がない人  
絆創膏を貼ってから 17分後に変化があったかを見る



#### 7 【絆創膏を貼ってから 17分後】

6で変化がない人の変化の有無を確認し**テスト結果を説明**

- 赤くなった人(低活性型 ALDH2)  
(結果)「お酒に弱い体質」「無理して飲まない」  
※飲むと、食道と頭頸部のがんのリスクが上がる

- 変化がない人(活性型 ALDH2)  
(結果)「お酒を飲める体質→飲み過ぎが問題になる体質」  
※肝臓病・膵臓病・アルコール依存症など病気になる可能性あり

